

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2011-515237(P2011-515237A)

【公表日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2009-547259(P2009-547259)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

B 0 5 C 5/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月14日(2011.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

室を画定する構造であって、該室が第1表面と第2表面とを含み、該第1表面がノズル孔を含む、構造と、

前記ノズル孔と反対である前記第2表面に設けられた液滴形成機構と、

前記室との流体連通状態にある第1液体供給通路および第2液体供給通路と、

多区分液体流入口であって、該液体流入口の第1区分が前記第1液体供給通路との流体連通状態にあり、該液体流入口の第2区分が前記第2液体供給通路との流体連通状態にある、多区分液体流入口と、  
を包含する液体吐出装置。

【請求項2】

室のアレイを画定する構造であって、各室がノズル孔を有する、構造と、

各室に設けられた液滴形成機構と、

各室との流体連通状態にある第1および第2液体供給通路であって、各室から反対方向に延出する第1および第2液体供給通路と、

複数の第1区分と複数の第2区分とを包含する多区分流入口であって、該液体流入口の該第1区分の各々が前記第1液体供給通路との流体連通状態にあり、該液体流入口の該第2区分の各々が前記第2液体供給通路との流体連通状態にあって、該複数の第1区分と該複数の第2区分とが前記ノズル孔の反対側に設けられる、多区分流入口と、  
を包含する液体吐出装置。

【請求項3】

ノズル孔を有する室を画定する構造と、

前記室に設けられた液滴形成機構と、

前記室との流体連通状態にある第1および第2液体供給通路と、

多区分流入口であり、該液体流入口の第1区分が前記第1液体供給通路との流体連通状態にあって、該液体流入口の第2区分が前記第2液体供給通路との流体連通状態にあり、該液体流入口の該第1区分と該液体流入口の該第2区分とが、前記ノズル孔と直交する面から見て相互に対してオフセットして配置される、多区分流入口と、

を包含する液体吐出装置。